株主優待のご案内

株主の皆様へ、日頃のご支援に感謝をこめて、
また当社事業へのご理解を一層深めていただくために、
玄品をお楽しみいただける「優待券」を
進呈させていただきます。

■進呈基準

保有株数（3月末日・9月末日）	優待内容
100株（1単元）以上300株（3単元）未満	2,000円 ご優待券1枚
300株（3単元）以上600株（6単元）未満	2,000円 ご優待券2枚
600株（6単元）以上1,000株（10単元）未満	2,000円 ご優待券4枚
1,000株（10単元）以上	2,000円 ご優待券6枚

■進呈時期（毎年6月下旬、12月下旬の年2回）
■優待内容（店舗でのご利用の場合）
◎優待券は「4,000円（税込）以上のコース」でのみ
2,000円（税込）の割引としてご利用いただけます。
また、優待券は1コースで1枚のみのご利用となります。
◎日本国内の店舗のみでご利用いただけます。
◎テイクアウトが可能な対象コースの場合にもご利用いただけます。

【北海道】札幌すすきの【東京都】浅草 / 池袋 / 上野 / 大森山王 / 神楽坂 / 蒲田 / 亀戸 / 吉祥寺 / 銀座一丁目 / 銀座新橋 / 国分寺 / 品川大井町 / 渋谷 / 新宿三丁目 / 新宿南 / 竹ノ塚 / 千歳烏山 / 中野 / 西葛西 / 練馬【千葉県】浦安 / 柏 / 千葉 / 本八幡【埼玉県】浦和 / 大宮 / 川口 / 南越谷【神奈川県】青葉台 / あざみ野 / 大船 / 川崎 / 桜木町 / 本厚木 / 南林間 / 横浜 / 横浜中華街【長野県】善光寺口【愛知県】名古屋錦本町【大阪府】池田 / 茨木 / 大阪梅田東通 / 大阪北新地 / 北梅田 / 楠葉 / 堺天神 / 新大阪 / 心斎橋 / 吹田 / 天満 / 難波 / 法善寺総本店 / 本町 / 守口 / 八尾【三重県】四日市【京都府】京都祇園【兵庫県】伊丹 / 神戸三宮北野坂 / 塚口 / 阪神尼崎【広島県】広島紙屋町
（2023年11月現在）

お取寄せのご利用およびご優待内容の詳細につきましては、
株主様宛に郵送のパンフレット「株主様ご優待券のご案内」をご確認ください。

玄品ショッピングサイト
https://www.genpinfugu.com

会社概要

2023年11月1日現在

株式會社 關門海　KANMONKAI Co.,Ltd.

創業	1980年9月
設立	1989年5月 株式会社さかな亭（現：株式会社関門海）を設立
資本金	1,000万円
従業員数	146名
所在地	【本社】〒580-0041 大阪府松原市三宅東一丁目8番7号 TEL：072-349-0029　FAX：072-349-0023 【東京支社】〒101-0048 東京都千代田区神田司町二丁目2番1号　セキネビル4F TEL：03-3525-7129　FAX：03-3525-7128
上場市場	東京証券取引所スタンダード市場（3372）
URL	https://www.kanmonkai.co.jp
役員	代表取締役社長　山口　久美子 取締役　大村　美智也 社外取締役　松下　義行 常勤監査役　阿井　公宗 社外監査役　近藤　行弘 社外監査役　小田　利昭

子会社・関連会社

2023年11月1日現在

関門海（上海）貿易有限公司（中国上海市）
KANMONKAI-SG PTE.LTD.（シンガポール）

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	毎年3月31日
株式の売買単位	100株
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部 TEL：0120-288-324
公告方法	電子公告による（https://www.kanmonkai.co.jp） 但し電子公告を行えない場合は、日本経済新聞に掲載する。

株式會社 關門海

第36期 中間事業報告書

2023年4月1日～2023年9月30日

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当中間期は、不安定な国際情勢があり、円安の進行、資源・燃料価格の高止まりや物価の上昇など依然として厳しい環境は続いているものの、新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類に移行したことにより、消費行動が活発化しており回復傾向がみられました。

当社の業績につきましても、「うなぎ」や「天然とらふぐ」などを、多くのお客様にご好評をいただきまして想定を上回り、当中間期の売上高は1,692百万円（前年同四半期比40.6%増）となりました。販売費及び一般管理費については、原材料費、アルバイト人件費、水道光熱費等の変動費が増加しておりますが、徹底したコスト管理を行うことや生産性向上の取り組みを進めることにより1,318百万円となりました。これらにより営業損失は150百万円、経常損失は180百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は84百万円となり、前年業績を大きく上回ることが出来ましたため、業績予想を上方修正しております。

9月には今後の売上高増加に繋げるため、東京都「玄品　新宿三丁目」、大阪府「玄品　難波」の全面改装によるリニューアルオープンを行っており、10月には中国での4号店も新規オープンいたしました。海外店舗はシンガポールも併せ5店舗となり、「玄品」が海外でも広がりを見せています。

また、連結子会社である株式会社宗國玄品ふぐを吸収合併し、経営効率の向上を図りつつ、当社の更なる企業価値・ブランド力の向上と、持続的な成長のため、新体制にて玄品事業および外部販売事業へ取り組んでおります。株主の皆様のご期待に添えるよう精進して参りますので、引き続き温かいご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

株式會社 關門海　代表取締役社長
山口　久美子

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表（要約）

（単位:百万円）

資産の部		
	当第2四半期連結会計期間（2023.9.30現在）	前連結会計年度（2023.3.31現在）
流動資産	3,045	4,001
固定資産	897	858
有形固定資産	524	477
無形固定資産	17	18
投資その他の資産	356	362
資産合計	3,942	4,860
流動負債	3,322	3,831
固定負債	130	455
負債合計	3,452	4,286
株主資本	487	572
資本金	10	10
資本剰余金	656	656
利益剰余金	109	194
自己株式	△ 287	△ 287
新株予約権	0	0
純資産合計	490	573
負債･純資産合計	3,942	4,860

四半期連結損益計算書（要約）

（単位:百万円）

	※当第2四半期連結累計期間（2023.4.1～2023.9.30）	※前第2四半期連結累計期間（2022.4.1～2022.9.30）
売上高	1,692	1,204
売上原価	524	402
売上総利益	1,167	802
営業利益	△ 150	△ 358
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 84	△ 328

※上半期は4月～9月のとらふぐ料理の需要が低下する環境にあるため、業績の季節変動があります。

四半期連結キャッシュ･フロー計算書（要約）

（単位:百万円）

	当第2四半期連結累計期間（2023.4.1～2023.9.30）	前第2四半期連結累計期間（2022.4.1～2022.9.30）
営業活動によるキャッシュ･フロー	△ 169	△ 219
投資活動によるキャッシュ･フロー	△ 478	△ 18
財務活動によるキャッシュ･フロー	△ 599	△ 1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 1,246	△ 236
現金及び現金同等物の期末残高	1,563	1,459

株式の状況

2023年9月30日現在

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	13,698,833株
株主数	16,416人

※自己株式302,067株を除く

大株主の状況（上位10名）

小数点第3位以下四捨五入

株主名	持株数	持株比率
株式会社椿台	3,344,500	24.41%
サントリー株式会社	1,178,100	8.60%
尾家産業株式会社	370,000	2.70%
田原　久美子	239,500	1.75%
鈴木　富美子	121,800	0.89%
関門海福株会	87,100	0.64%
藤本　哲也	53,800	0.39%
山口　旺子	51,950	0.38%
山口　晴緒	51,950	0.38%
楽天証券株式会社	51,600	0.38%
合計	5,550,300	40.52%
発行済み株式総数	13,698,833	100.00%

（注）当社は自己株式302,067株（所有割合2.16%）を保有しておりますが、上記大株主の状況には含めておりません。

玄品冬の定番！お得な飲み放題コース“冬安居”

NEWS TOPICS

TOPICS 1 インバウンド旅行客の回復

大阪、東京の繁華街店舗では、台湾や韓国などのアジア地域を中心にインバウンド旅行客の大幅な来店増加があり、特にA5等級天然とらふぐコースは好評をいただいております。
また、鰻を目的にご来店される欧米各国の訪日観光客も多くなっています。今後も日本に訪れる世界中の方々へ日本が誇るとらふぐの美味しさを発信してまいります。

TOPICS 2 7名様限定の特別なひととき「女将カウンター」

6月9日には玄品 本町店「女将のカウンター」がスタート。代表取締役社長である山口が自らカウンターに立ち、新たな業態に取り組みました。
肉厚の希少な国産天然とらふぐを蔵元秘蔵の日本酒とともに、完全予約制の特別な空間でお楽しみいただいております。

TOPICS 3 大切な食事を演出する個室空間を増設

ビジネス利用や接待、インバウンド利用が多い、新宿三丁目店と難波店を9月にリニューアル。これまでよりもゆったりとした個室を設けることで、より居心地のよい時間を過ごせる空間にしました。
また、お座敷を全てテーブルにすることで、海外のお客様や年配のお客様もご利用しやすくなりました。今後もニーズに応じた店舗空間づくりを一層進めてまいります。